

# ほおづえ

## 第6号

- 目次
- 1 会長あいさつ
  - 2 平成10年度総会報告
  - 3 北陸支部だより
  - 6 関東支部だより
  - 8 ほおづえNEWS  
〈特別会員近況〉  
〈学内近況〉  
〈会員近況〉  
〈告知〉
  - 12 ほおづえ会からのお知らせ

会長 宮川 浩志 (2期)

8月16日の総会に於いて承認され、新しく「ほおづえ会」の会長を務めることになりました。どれ程のことが出来るかわかりませんが、自分の出来る範囲で精一杯やりたいと思います。まずは、同窓会スタートの重責を担っていただいた野手前会長に、改めて感謝したいと思います。

さて、「ほおづえ会」も5年目を迎え、少しずつですが形作られて来ております。今期は北陸、関東に次いで、中部、関西支部も早期に設立出来るよう活動したいと思っています。支部設立には、会員の方の協力が必要です。各地の会員の皆さんの協力をお願いします。

最近の不況下で、厳しい状況が続いています。このような時期にこそ、人と人のつながりが大切であり、重要なことだと感じます。その為にも、津幡の地で多感な5年間に共に学んだ仲間や、先輩後輩をつなぐ同窓会というものを大切に育てていきたいと思っています。会員の増加に伴い年齢差も広がってきますが、そんな中でも、変わらず同じ思いで受け継がれていることもあるはずで、同窓会というものは、年齢差を越えて会員がお互いに研鑽したり、刺激を受け合ったりしていける場であってほしいと思っています。その為にも、企画された事業や、総会への会員の皆さんの参加と、同窓会に対する色々な意見をお待ちしています。

不順な天候の折、会員の皆さんには健康に留意され、益々ご発展されることをお祈りします。

# 平成10年度総会報告

平成10年8月16日、午後1時30分より、金沢全日空ホテルにて、『ほおづえ会平成10年度総会』が行われました。会員34名、および特別会員3名（柳場先生・櫛田先生・天野先生）の出席により、以下の議案について承認されました。

## 第1号議案 本部 平成9年度事業報告及び収支決算報告

〔事業報告〕

平成9年度通常総会（8月13日）〔金沢プリンスホテル内、参加者13名〕  
会報「ほおづえ」第5号発行（2月25日）

〔決算報告〕

（収入の部）

会費	3,000×317	1,000×160	1,111,000
総会、役員会会費			127,000
預り金（次年度分前払い会費）			231,000
貯金利息			709
前年度繰越金			783,682

（支出の部）

合計			2,253,391
総会、役員会会費			142,386
印刷費（広報）			149,100
通信費（総会案内、広報、フナト等）			182,170
事業費（学校への援助等）			200,000
慶弔費			35,750
事務費			40,716
支部支援費（関東、北陸）			300,000
積立金			200,000
次年度繰越金			772,269
次年度繰越金（会費預かり金）			231,000

合計 2,253,391

〔監査報告〕

監査の結果、収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。  
平成10年8月10日

監査 寺嶋 清人（2期）

## 第2号議案 本部役員改選

会長	宮川 浩志（2期）	常任幹事	榎田 純子（8期）
副会長	吉田 康弘（2期）		榎田 純子（8期）
事務局長	水上 康之（8期）		榎田 純子（8期）
会計	山家 真嗣（10期）		榎田 純子（8期）
常任幹事	三谷 哲也（2期）		榎田 純子（8期）
	金子 哲也（2期）		榎田 純子（8期）
	本田 昌義（3期）		榎田 純子（8期）

## 第3号議案 本部平成10年度収支予算案

（収入の部）

会費（正会員）	3,000×400	1,200,000
会費（準会員）	1,000×204	204,000
前年度繰越金		783,682

（支出の部）

合計		2,187,682
総会、役員会費		100,000
印刷費（名簿、広報2回）		750,000
通信費（総会案内、広報・名簿発送）		300,000
慶弔費		40,000
事業費（学校への援助等）		200,000
支部支援費（北陸・関東・中部・関西 各支部）		500,000
積立金		200,000
事務費		97,682

合計 2,187,682

## 北陸支部だより

北陸支部長 山内 隆 (4期)

ほおづえ会の本会設立後約4年、北陸支部設立後2年が経過しました。副支部長ということで2年間吉田支部長の元お世話になりましたが、8月の総会では私が北陸支部長として選任され、さらに2年間関わることになりました。今後共、各役員の協力を得て活動していきたいと思っております。

日頃の仕事の中でこの人が同窓生であったかと改めて知る様なこともありますし、助けってもらうこともあるかと思っております。自分を成長させるためにも同窓会を前向きに活用していただき、過去を踏まえた上で将来につなげていただければと思っております。

卒業後はそれぞれの道にすすみ、年代差も大きくなるに従って同窓会も変わっていきますが、魅力ある同窓会の姿を求めていきたいと思っております。

ここで、改めて皆様にお願ひがあります。各期の代表として参加する運営委員には、どうしても出欠や男女のかたよりが出てきます。各期で、一緒に活動できる運営委員を推薦していただきたいと思っております。

関東支部はすでに活動しておりますが、中部支部、関西支部も発足に向けて動き出しているようです。各地域での協力も併せて、今後ともご協力の程よろしくお願ひいたします。

### 懇親会〈バーベキュー・椅子作り〉

平成10年5月31日、昨年に引き続きほおづえ会北陸支部の懇親会として津幡町の森林公園にてバーベキュー大会を開催いたしました。当日は好天に恵まれ、会員・準会員総勢48名にてとり行われました。

今回は新たな企画として、「椅子づくり」と題したワークショップも同時に開催いたしました。当日は数多くのダンボールと紙パイプを材料として、カッター・テープ・ひも等を用いて組み立てられました。2時間という短い時間の中、家族でくつろぐいす・子どもが遊ぶいす・紙管の構造を生かしたいいす等各チーム様々ないすを制作しました。中には今にも壊れそうないすもあり、考えたものを形にする事の難しさを経験しました。

その他、バーベキューの合間に毎回恒例のビンゴゲームも行われ、豪華賞品珍賞品入り乱れ終始にぎやかなうちに懇親会も幕切れとなりました。

今回は、椅子づくりワークショップを通して会員・準会員、先輩・後輩が一緒になってひとつの目標を考えたことはたいへん意義があると思っております。今回のイベントをきっかけとして、ますます会員相互の親睦・交誼が深まればと思っております。

最後になりましたが、ご参加下さった皆さん及び運営委員の皆さん、本当にありがとうございました。次回もよろしくお願ひいたします。



▲懇親会〈バーベキュー〉参加者

# 平成10年度北陸支部総会報告

平成10年8月16日、午後1時30分より、金沢全日空ホテルにて、『ほおづえ会平成10年度北陸支部総会』が行われました。会員34名、および特別会員3名（榎場先生・柳田先生・天野先生）の出席により、以下の議案について承認されました。

## 第1号議案 北陸支部平成9年度事業報告

### 〔事業報告〕

バーベキュー（石川県森林公園）（平成10年5月31日）48名参加

ワークショップ（椅子製作・バーベキューと同時開催）

### 〔決算報告〕

#### （収入の部）

支部支費	200,000
事業収入（バーベキュー・椅子製作）	88,500
貯金利息	104
前年度繰越金	41,954

合計 330,558

#### （支出の部）

会議費（施設利用費等）	14,300
通信費（郵便・電話料）	33,550
事務費（コピー代等）	19,700
事業費（バーベキュー・椅子製作）	118,200
次年度繰越金	146,708

合計 330,558

### 〔監査報告〕

監査の結果、上記収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。

平成10年8月10日

監査 谷保 学（3期）

## 第2号議案 北陸支部会則改正

（下線部改正箇所）

### （総則）

第1条 本会は石川工業高等専門学校建築学科同窓会北陸支部と称する。

第2条 本会は支部会員相互の親睦を図ることを目的とし、その目的を達成するために必要な事業を行う。

### （会員）

第3条 本会は、石川県・富山県・福井県・新潟県・長野県在住者を会員とする。

### （役員）

第4条 本会に次の役員を置く。

1. 支部長 1名
2. 副支部長 若干名
3. 事務局長 1名
4. 運営委員 若干名
5. 監査 1名
6. 顧問 若干名

第5条 役員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

(総会)

第6条 本会は、1年に1回定例総会を開く。必要に応じて臨時総会を開くことができる。  
定例総会を開くことができないときは、役員会を以て総会に代えることができる。

(役員会)

第7条 役員会は支部長・副支部長・事務局長・運営委員を以て組織する。役員会は総会に提出する議案の作成、議会の議決、本会の目的を達成するために必要な事業等を行う。

(会計)

第8条 本会は年会費は徴収せず、各事業毎に会費を徴収する。

第9条 本会の会計年度は毎年8月1日に始まり翌年7月31日に終わる。

(付則)

第10条 この会則は平成8年8月18日より施行する。  
この会則は平成10年8月16日改正する。

第3号議案 北陸支部役員改選

支部長	山内	隆	(4期)	運営委員	戸水	雅之	(14期)
副支部長	酒井	治	(4期)	"	川崎	吉造	(16期)
"	越野	明	(9期)	"	山岸	学	(16期)
事務局長	富樫	吉規	(20期)	"	井本	光	(18期)
運営委員	山口	孝芳	(1期)	"	坂井	志津江	(19期)
"	藤坂	邦彦	(2期)	"	林	晃一郎	(20期)
"	加藤	明博	(3期)	"	今崎	宮土里	(21期)
"	竹田	敏信	(3期)	"	坪野	小枝子	(21期)
"	坂下	修市	(4期)	"	前田	智代	(21期)
"	谷崎	茂樹	(6期)	"	杉谷	信幸	(22期)
"	居島	正樹	(7期)	"	霜島	加奈美	(24期)
"	松浦	弥	(7期)	監査	谷保	学	(3期)
"	横井	嘉邦	(10期)	顧問	垂井	洋藏	(教官)
"	石村	聖一郎	(11期)	"	河内	浩志	(教官)

第4号議案 北陸支部平成10年度収支予算案

(収入の部)	
支部支操費	200,000
前年度繰越金	145,890
合計	345,890
(支出の部)	
会議費(施設利用費等)	40,000
通信費(郵便・電話料等)	70,000
事務費(コピー代等)	35,890
事業費	200,000
合計	345,890

# 関東支部だより

関東支部長 中田 良一 (4期)

一年一年、月日の流れるスピードが、どんどん早くなるように感じるのは、私だけでしょうか？  
ほおづえ会 関東支部として “あれをしよう！” “これもしたい。”と、時々考えたり、幹事会で話し合ったりするのですが、会員への連絡、運営などを打ち合わせていくうちに、行事予定がしぼんでしまいます。

”パワー”のある新しい力を求めています。

どうか会員皆様の御協力を、お願いいたします。

## 平成9年度 関東支部活動報告

平成 9年 11月23日      ロボコン応援  
平成10年 4月10日      幹事会 召集  
平成10年 7月22日      執行部会 召集



平成9年度ロボコン応援にて

## 平成9年度 関東支部収支決算報告

(収入の部)

前年より繰越金		30,809
銀行利息	(8/11)	17
支部支援費		100,000
銀行利息	(2/16)	28
幹事会より		2,000

合計

¥132,854

(支出の部)

故 伴先生 香典	20,000
故 伴先生 弔電	3,000
次年度への繰越金	109,854

---

合計 209,854

監査報告

監査の結果、上記収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。

平成10年 8月 8日

監査 前山 秀穂 (3期)

平成10年度 関東支部収支予算

(収入の部)

前年よりの繰越金	109,854
支部支援費	100,000

---

合計 209,854

(支出の部)

支部總會通信費	30,000
支部總會補助費	120,000
幹事会・執行部会会議費	30,000
事務局経費	10,000
雑費	10,000
予備費	9,854

---

合計 209,854

平成10年度 関東支部事業計画 (H10. 8. 1~H11. 7. 31)

平成10年11月	ロボコン応援
平成11年 2月	関東支部總會
5月	ゴルフ
7月	バーベキュー

幹事会・執行部会等は、支部長の召集により不定期に行う。

<特別会員近況>

**榎田 清 先生<北陸建築文化賞>受賞**

本校名誉教授の榎田清先生が、日本建築学会北陸支部の平成九年度北陸建築文化賞を受賞され、平成10年8月31日、金沢高専にて行われた同支部50周年記念大会で表彰されました。これは昨年6月に出版された『スケッチ金沢 都市景観を読む』をはじめ、スケッチ、評論、エッセー、展覧会等の長年に渡る多彩な文化活動が評価されたことによるものです。今後のご活躍をいっそう期待いたします。

<学内近況>

**熊澤 栄二 先生着任**

平成10年12月1日より熊澤栄二先生が、建築学科講師として着任されました。

略歴 平成2年 福井大学工学部建築学科卒業  
 平成4年 同大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了  
 平成10年 京都大学大学院工学研究科博士後期課程建築学専攻  
 学位取得退学

専門：景観論、建築設計  
 担当：建築設計、情報処理 (CAD)、建築デザイン論、建築史

<学内近況>

**山田 英代 先生着任**

平成10年6月1日より山田英代先生が、建築学科講師として着任されました。

略歴：昭和49年3月生まれ福井県出身（今回の就職で初めて故郷を離れたそうです。）

平成3年 福井大学工学部建築学科卒業

平成7年 同大学院博士後期課程修了

平成9年6月～10年5月 福井大学工学部環境設計工学科にて教務補佐員

専門：地域計画、高齢者福祉、住生活文化論、住宅政策

担当：建築計画、建築設計、建築防災工学

●石川高専に初めて来た時の感想は？

一番最初に来た時は、まずあの「坂道」にびっくりしましたね。そして校舎を見た印象は「高校みたいだな」と、そしてピンク色というのがめずらしいなと思いました。私がこれまで体験してきた学校はどれも平地にあったので、学内がここのように起伏に富んでいるというのは初めてで、変化があってもおもしろいと思ったのですが、今ではあの急な階段がキツイ！と思う日もときどきあります。

学生さんたちははじめでおとなしい、という印象です。（もちろん例外の人も・・・）

それにとっても優秀だと思います。ただ、今の自分に満足やあきらめたりせず、どんどん世界を広げて、自分を変えていこうとする積極性を持って欲しいと思っています。その火付け役のひとりになればいいなと思っていますのですが・・・

●現在半数以上が女生徒ですが、同性としてそれについてお考え等ありましたら一言。

「住む」ということについては男女差を問わず、だれしもが毎日体験していることなので、建築を専攻する学生の半数を女性が占めるということに関しては好ましいと思います。問題はやはり、就職がよりむずかしくなるということですね。就職先を見つける事、家庭を持った時にどうするのか？頭を悩ませる事がずっと続きます。まあ、これは建築という分野に限りませんが・・・。ただ私は、彼女たちに対しては、同じ分野に進んだ一人の先輩として、ぜひがんばって一つずつクリアして行ってほしいと思っています。そして、できることなら家庭も仕事も両方楽しんで欲しい、その中で生活者としての視点で良い建築を考えて行って欲しいですね。なぜなら家庭人としての生活体験を基盤にして街や建築をどんどん変えていけるのはやっぱり女性だと思うので。



## <学内近況>

1年生前期を終えての心境 ——平田 永<sup>ひさか</sup> (石川高専1年) ——

### ●これからは・・・

「自分は無力だなあ。」建築学科に入ってこんな想いが強くなったと思う。とあるハウスメーカーのコンペに出す私の図面やコンセプトは、アイデアはあるものの、原稿を印刷する日にもまだまとまらなかった。そのため私は先輩に朝早くから手伝いをさせることになってしまい、自分は本当に恥ずかしい奴だと痛感した。

建築は一人ではできないとはいえ、私の場合はどう考えても人に迷惑をかけすぎである。それにも関わらず、いつもいつも先輩達はフォローしてくれたり、そんなミスじゃないよと言ってくれたり、少しでも私に仕事を任せようとしてくれたり、相談にのってくれたりしてくれる。本当に自分の最低さ加減に泣けてくる。

今回私は先のコンペの高校の部で最優秀賞という、私には勿体なすぎる賞を頂く事になった。勿論これは私一人の力だけでなく多くの人達の協力あってのことだと思っている。そしてこれからは悩むよりも先にまず自分にできる事をとにかくして先輩達に恩を返していこうと思う。又この場をお借りして一言伝えたい。本当にありがとうございます。

## <会員近況>

### 本田 昌義 君<石川工業高等専門学校同窓会会長>就任

昨年度まで、石川工業高等専門学校建築学科同窓会の本部事務局長を務めていた本田昌義君(3期)が平成10年8月16日の『石川工業高等専門学校 平成10年度 同窓会総会』の役員改選にて、石川工業高等専門学校同窓会会長に就任いたしました。

### ●全体同窓会会長就任にあたって ——本田 昌義(3期)——

この度、ほおづえ会を代表いたしまして全体同窓会の会長を務めさせていただくことになりました。これまでは、ほおづえ会事務局長といたしまして、会の発展のため、微力ながら努力してきましたつもりですが、いたらぬ点も多く、会員の皆様方にはご迷惑をおかけしたかと思えます。この場をおかりいたしましてお詫びと御礼を申し上げます。

さて、石川高専も私が学生のころとは違って、専攻科の設置、留学生・編入生の受け入れ、女子学生の大幅な増加、卒業生の約1/3が大学へ進学など、大きく変化してきているようです。今年度の5年生がちょうど30期ということで、全体同窓会も来年は節目を迎える年ではないかと思われれます。

ほおづえ会でもいつも問題になっていたことですが、全体同窓会でも、若い会員の方々、特に増加している女性会員の方々、北陸だけでなく全国各地に在住する会員の方々が、どのようにしたら同窓会活動に参加していただけるかということを考えることが、最重要課題かと思われれます。

任期2年の間にできるかどうかはわかりませんが、関東・関西に同窓会支部を作れないかと考えております。ほおづえ会でも、まだ関東と北陸の2支部しか結成されていない現状を考えますと、なかなか難しいかとは思いますが、その節には、皆様方のご協力をお願いすることになると思いますので、宜しく願いいたします。

また、私が会長就任を承諾いたしましたのは、ほおづえ会という後ろ盾があったからこそできたことで、学科ごとの同窓会の必要性を痛感いたしており、他の学科にも同窓会の設立を働き掛けていきたいと考えております。当面は「ほおづえ会」と「全体同窓会」という2本建ての同窓会で皆様にご迷惑をかけるかとは思いますが、将来的には1本化を目指していくつもりでございます。

最後になりましたが、8月16日の全体同窓会総会には多数のほおづえ会会員のご参加をいただき、盛大に総会を開催できましたことを厚く御礼申し上げます。

<会員近況>

ニューヨークにて —北野 和美 (18期) —



はじめまして。私は石川高専を卒業してから、しばらく地元設計事務所に勤めた後、ニューヨークのPERSONS SCHOOL OF DESIGN (パーソンズ) という美術系の大学に編入し、今年の5月に卒業しました。大学ではインテリアデザイン専攻でしたが、編入の際、高専の単位もいくつか認めてもらうことができ、卒業への近道となりました。ニューヨークという土地柄、世界各国から留学生が来ていましたが、かえって誰も外国人として扱われないところが良かったりもします。また30代、40代の人でも普通に大学で学んでいて、年齢に関係なく、情熱・やる気を大切にしてくれます。

ニューヨークと聞いて、危険な所では?と思われる方も多いでしょうが、ここ数年犯罪件数も激減し、よほど危険と言われる地区へ行かない限り、危ない目には遭いません。私の隣りに住むアメリカ人のおじいちゃんなんかは、「サリン事件や少年犯罪、本当に日本は怖い国だねえ。」なんて言ってるほどです。

ニューヨークでも私の住むマンハッタンは戦前の建物が多く、地下の水道管なんかは100年近く経っており、よくあちこちで破裂して断水なんて普通のことです。新しい建物もあまり建たず、ニューヨークの人々は古いものを楽しむことがとても上手です。自然とインテリアに対する感心も高く、ストリートを歩いていても窓から垣間見る室内は、アンティークの素敵な家具などで個性豊かな演出がなされています。

でも私が初めてニューヨークへ来てレストランに入ったときはとても驚きました。室内は真っ暗でメニューも読めなく、料理が来てもいったい何を食べているかわからないほどでした。ニューヨークの多くのレストランがテーブルのろうそくのみ照明で、蛍光灯の国日本で育った私には、まるでお化け屋敷の中にいるような気分でした。逆にニューヨークの人たちは、日本食レストランのことを「あんな明るい店は見ることがない。目が潰れるよ。」なんて言うくせです。この違いを大学のライティングデザインの先生と話した時に、「文化的にアメリカ人は太陽の光を、日本人は月の光を好むということから来ていると聞いたことがある。」とっていました。ちょっと素敵な答えですが、でも私には単にロマンティックな暗いろうそくの光のもとでは、顔のしわなんかも隠れて皆がきれいに見えるからではないかと思われたりもします。

ついでに言いますと、歩行者は信号無視はあたりまえ、トイレのドアはひざから下がオープンだし、なすやキュウリはおばけのような大きさ。文化の違いなんて言い出したらきりがありませんが、郷に入りてはなんとやら、多少のことはなんでもこなしてきた私でも、やはりどうしても困ることがあります。(アジア人同士はしないことです。) そうですKISSです。特に陽気なラテン系の皆さんは、ここにしてくれとばかりに顔を差し出してくれます。となるともう躊躇している場合ではありません。とにかく冷や汗かきながら、とにかくとにかくKISSします。それでも私は一生この習慣になれることはないだろうと思い、日本に帰ってきて、おじぎなんかで挨拶している自分にホッとしたりします。・・・ちょっと横道にそれてしまいましたが、

アートやデザインを学ぶ者にとっては、ニューヨークは最適な場所です。数ある美術館にはどれだけ行っても飽きませんが、それ以上にすごいパワーを街自体に感じます。公園や地下鉄の駅ではジャズの生演奏など音楽が絶えず、休日にはいたる所にアンティークのフリーマーケットやストリートフェスティバルが開かれ、人々は陽気でお祭り好きで、パレードやハロウィンの時はすごい仮装をして街中ねり歩きます。まさに大人が楽しむための大人の街で、観光では伝わらない住むことの楽しさがあります。そんなニューヨークへ私もまた地獄の13時間の空の旅に耐え、今度は社会人として戻るつもりでいます。

<告 知>

北陸支部からのお知らせ —北陸支部長 山内 隆(4期)—

●建物見学会について

4月10日(土)～11日(日)に建物の見学会を懇親会と合わせて開きます。  
富山県内のホットスポットを巡る予定です。

ほたるいたミュージアム(滑川)、国宝瑞龍寺(高岡)、まんだら遊苑(立山)

その他 春竣工予定の建物等を予定

宿泊先: 宇奈月ホテルニューオータニ

連絡先: 横井 嘉邦(10期) TEL 0766-61-2439 FAX 0766-61-8501

詳細は改めて通知いたしますのでぜひ参加を!

●バーベキュー大会について

例年通り6月に開催予定です。ご家族連れでどうぞ。

●同好会・サークル活動について

北陸支部では、支部会員が主体的に行うサークル活動を応援しています。

親睦や交流、勉強を目的としての活動であれば、原則OK! 会報へも掲載して仲間を募ることもできます。

例えば 見学会

いろいろな建物を見て回ります。

勉強会

構造や法規、建設の工法、パソコンでのネットワークやCAD等

スポーツ

ボーリング、ソフトボール、ゴルフ、釣り等

その他

経済や社会情勢、現象に関する勉強会等

4～5人が集まればまず活動してみてください。

本年度はまず、「建物見学会」がスタートする予定です。

問い合わせ先は

事務局 富樫吉規(20期) TEL0764-92-7463 FAX0764-92-7463

又は

副支部長 越野 明(9期) TEL0761-57-3651 FAX0761-57-3651

●運営委員などの募集について

各期から同窓会の活動に協力してくれる方を常時募集しています。

また、個人の消息案内や会員に伝えたいことなどがありましたらご連絡ください。

会報などの形で掲載することも考えています。

連絡は、上記の 富樫吉規又は越野明へ

# ほおづえ会からのお知らせ

## 1. 支部情報

北陸支部事務局：〒 920-0935 石川県金沢市石引 1-7-16 金沢デザイン建築専門学校内

TEL/FAX:0764-92-7463 E-mail:hozuekai@anet.ne.jp

事務局長：富樫 吉規(20期)

関東支部事務局：〒 105-0013 東京都港区浜松町1-11-6 あずまビル4階 (株)ツツキ東京支店内

TEL:03-5470-1941 FAX:03-5470-1946

事務局：宮本 進治(10期)・竹内 伸好(13期)

中部支部、関西支部：

現在、名古屋在住の山本進一君(2期)と大阪在住の井口秀栄君(2期)にそれぞれの地区の取りまとめ役をお願いしてありますが、会員数の増加で年齢差も広がり、連絡をとることも苦労しています。中部、関西地区の会員だけでなく、北陸、関東の会員の方であっても中部、関西支部の設立に協力して下さる方を求めています。

## 2. 住所変更の届け出のお願い

住所・勤務先等の変更があった会員は、ご面倒でも下記事務局までご連絡ください。

今回名簿を同封いたしました。基本的にご本人からの変更連絡が無い限り、こちらから情報を集めるのは非常に困難な状況です。ぜひ会員名簿の充実の為、ご協力をお願いいたします。

## 3. 会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員のみなさまの会費によって運営されています。会費の納入にご協力お願いいたします。

## 4. 原稿募集

会員のみなさまより原稿を募集しております。近況報告・ニュース・ご意見等テーマは、問いません。下記事務局まで、郵送・FAX・E-mailにてお送りください。

## 編集後記

今回こそはと段取り良くしたつもりでしたが、やはり予定より遅れての会報発送となってしまいました。原稿依頼を受けてくださった方々は、自分の原稿を急かされた割には肝心の会報がいつまでたっても送られてこないじゃないか！と気をもんでいたことでしょうか、ようやくこうしてお届け出来る事と相成りました。

さて、本業や同窓会活動を通じて見ましても、今更ながらインターネットの便利さを噛みしめている今日この頃です。これはまだまだ私的な望みではありますが、いずれは全国のほおづえ会メンバーが、ネット上で何時でも情報交換が出来るような場が作れたら良いなと思っております。もしそのアカツキに、私が明らかに勤務時間中に参加していたとしても、どうぞ暖かい目でお見逃しの程、今の内から宜しくお願いいたします( ; )。もう一つ、上のお知らせにも書いてある通り、今後の誌面作りの為、どんな情報でも結構ですので、お気軽にメールをお寄せ下さい。  
広報委員長：山岸 学(16期)

平成11年2月4日発行

編集／発行 石川工業高等専門学校建築学科同窓会事務局

〒920-0935 石川県金沢市石引1-7-16 金沢デザイン建築専門学校内

TEL 076-262-3545 FAX 076-222-9229

E-mail:hozue@anet.ne.jp